

●北総鉄道2021年度(上期)決算

前年同期と比べ増収増益も、感染再拡大や緊急事態宣言の再発令など新型コロナウイルス影響は続き、依然として厳しい状況

北 総 鉄 道 (上 期) 決 算 に つ い て

2021年度上期は、年度当初の新型コロナウイルス影響からの回復もあり、定期外旅客は、前年同期比99万3千人、25.6%の増加、定期旅客については、通学定期については大きく回復したものの、通勤定期については、テレワークの浸透などにより依然減少が続いており、前年同期比41万8千人、3.7%の減少となり、定期・定期外合わせた輸送人員合計は前年同期比57万5千人、3.8%の増加となりました。

表① 輸送人員と旅客運輸収入

		2021年度上期	2020年度上期	増減数	増減率
輸 送 人 員	定期外	千人 4,866	千人 3,873	千人 993	% 25.6
	定期	10,721	11,139	△418	△3.7
	合計	15,587	15,012	575	3.8
旅客運輸収入計		百万円 4,937	百万円 4,614	百万円 322	% 7.0

当期上期の営業収益は、定期外輸送人員の増加などを受けて67億3千6百万円と、前年同期比2億5千4百万円、3.9%の増収となりました。旅客運輸収入については、前年同期比3億2千2百万円、7.0%の増収となる49億3千7百万円となりました。

営業費用については、当期におきましても可能な限り来年度以降に先送りするなど費用削減に努めた結果、52億1千万円とほぼ前年同期並みとなりました。

以上により、営業利益は15億2千5百万円と、前年同期比2億5千1百万円、19.8%の増益となりました。

また、経常利益は13億1千8百万円と、前年同期比2億6千5百万円、25.2%の増益となり、法人税等を差し引いた四半期純利益は、8億9千4百万円と前年同期比1億4千6百万円、19.5%の増益となりました。

利益項目は、いずれも黒字を確保いたしましたが、コロナ以前の水準からは大きく減少したままであり、一層の経営改善に努めてまいります。

表② 比較損益計算書

(単位：百万円)

	2021年度上期	2020年度上期	増減額	増減率(%)
営業収益	6,736	6,482	254	3.9
営業費用	5,210	5,208	2	0
営業利益	1,525	1,273	251	19.8
営業外損益	△207	△220	13	6.1
経常利益	1,318	1,053	265	25.2
四半期純利益	894	748	146	19.5

表③ 貸借対照表

資産の部		負債及び純資産の部	
科目	金額	科目	金額
	百万円		百万円
資産の部		負債の部	
流動資産	10,720	流動負債	8,029
固定資産	81,833	固定負債	61,969
		負債の部合計	69,999
		純資産の部	
		株主資本	
		資本金	24,900
		利益剰余金	△2,345
		純資産の部合計	22,554
資産の部合計	92,553	負債及び純資産の部合計	92,553

以上